

カムイワッカ地区の協議会の統合について

1. 概要

現在カムイワッカ地区における検討課題としては、自動車利用適正化（マイカー規制）の他に、カムイワッカ湯の滝の利用、硫黄山登山口の利用など複数の課題がある。また、それらの課題を検討するにあたり、知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会、湯の沢安全対策連絡協議会が設置されている。

知床世界遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議においても、個別課題毎に設定されている協議会等をこの会議の個別会合として統合し、整理を図ることとされている。

そのような中で、過日開催された湯の沢安全対策連絡協議会において、事務局（斜里町）からカムイワッカ地区の課題を一本化に向けて検討したいとの提案がなされ合意が得られた。また、今年度からカムイワッカから硫黄山登山口までの道路の登山利用についても利用が開始され、網走建設管理部からも登山口までの利用も含めた協議会にしたいとの提案があった。

これらの状況から、カムイワッカ地区に関する課題を統一的に議論するため、今年度中に既存の協議会を統合し、来年度から新たな協議会として幅広い課題の検討を進めていく方向で整理していきたい。

2. 体制（案）

知床世界遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議の個別会合として位置づける。

「適正利用・エコツーリズム検討会議 カムイワッカ地区会合（仮称）」

協議会構成員：既存協議会構成員及び既存専門家

必要に応じて構成員の追加も検討

3. 検討対象（案）

知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会での協議内容

湯の沢安全対策連絡協議会での協議内容

硫黄山登山口までの登山利用についての検討

4. スケジュール（案）

H23.5 方向性について合意

H23.6～H24.3 準備会を設置し、体制の検討・整理

H24.4 統合された個別会合の発足